

令和4年度の主な事業内容

□民生費 ・社会福祉、老人福祉、障がい者福祉、児童福祉、児童手当、ひとり親家庭・寡婦対策、保育所(私立を含む)の運営など 62億281万円 ・国民健康保険特別会計への繰出金 2億6,010万円 ・介護保険特別会計への繰出金 3億9,699万円 ・後期高齢者医療広域連合への負担金、後期高齢者医療特別会計への繰出金 4億3,823万円	・武蔵ヶ丘北小学校増築関係費 2億790万円 ・社会体育関係 2,878万円
□衛生費 ・子ども医療費助成、予防接種、健康相談、集団検診、清掃費など 12億7,132万円 ・菊池環境保全組合負担金(ごみ処理分) 1億9,959万円	・ワクチン接種体制確保事業 2億771万円
□土木費 ・道路新設改良事業、町道・公園・町営住宅の維持管理など 34億789万円 ・土地区画整理事業 1億4,325万円 ・公共下水道事業分(繰出金) 2億3,153万円	□商工費 ・商工・観光振興など 4億5,785万円 ・企業誘致関係費 1億4,161万円 ・菊陽町プレミアム付振興券事業 3億2,912万円
□総務費 ・各地区施設(放送施設など)の整備、交通安全対策、防犯灯の設置、町内巡回バスの運行、電算システムの運用など 25億1,026万円	□消防費 ・菊池広域連合への負担金 4億3,774万円 ・消防団活動、各地区消防施設の整備など 9,679万円
□教育費 ・各小中学校の運営費、幼児教育など 12億7,943万円 ・図書館や生涯学習施設の運営、文化振興、人権教育・啓発の推進など 2億8,122万円	□農林水産業費 ・農業振興、農道・水路の整備など 4億5,341万円 ・菊陽町総合交流ターミナル施設さんふれあ関係 2,876万円 ・農業集落排水事業分(繰出金) 1,864万円

町の財政は健全な状態です

令和4年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定しました。

これは、これらの比率から地方公共団体の財政状況悪化の様子を捉え、早いうちから健全化を図ることを目的としたものです。

本町は全ての指標で早期健全化基準を下回っており、財政は比較的健全な状況です。

※健全化判断比率…財政の早期健全化や財政再生の必要性を判断するための比率
 ※資金不足比率…公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合

健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	黒字のためなし	13.42%	20.00%
② 連結実質赤字比率	黒字のためなし	18.42%	30.00%
③ 実質公債費比率	5.9%	25.0%	35.0%
④ 将来負担比率	20.1%	350.0%	
資金不足比率		経営健全化基準	
① 下水道事業会計	黒字のためなし	20.00%	
② 工業団地造成事業特別会計	黒字のためなし	20.00%	

令和4年度 決算審査

町監査委員からは、入札事務の処理と事業の執行計画などに対し「検討・見直しを行い、適切な改善を図っていただきたい」との意見がありました。その上で、「一般・特別会計の予算執行に関する総括的意見として、財政運営は適正に運営されていると認識している」「財政構造、財政指数については、多少数値に増減はあるものの、過去の数値推移から問題はないと判断した」との意見がありました。

下水道事業

☎ 下水道課 業務係 ☎(232)2164

町の下水道の普及率は令和4年度末で99.7%になり、県内でも高い普及率となっています。しかし、経年劣化している污水管もありますので、今後は、下水道施設の適切な維持や効率的な更新に重点を置き、安定的な事業運営に取り組んでまいります。

収益的収支

下水道を維持するための経費とその財源

収入	13億5,091万2千円
支出	12億2,679万4千円
純利益	1億2,411万8千円

資本的収支

下水道施設を整備・拡充するための経費とその財源

収入	24億9,147万8千円
支出	28億6,406万円
不足額	3億7,258万1千円

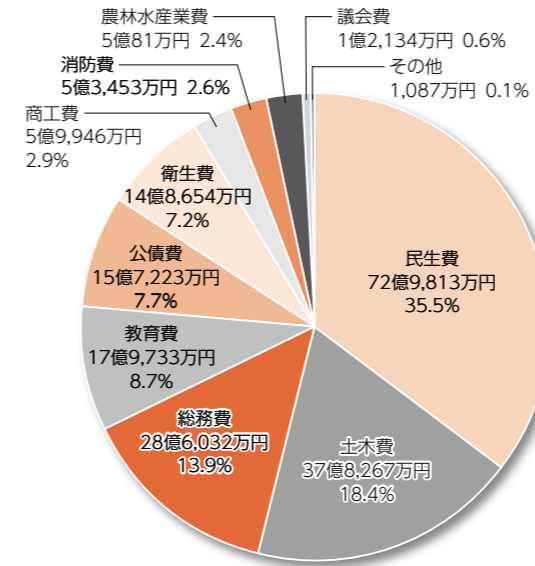
※不足額は損益勘定留保資金などで補填しました。

令和4年度 決算

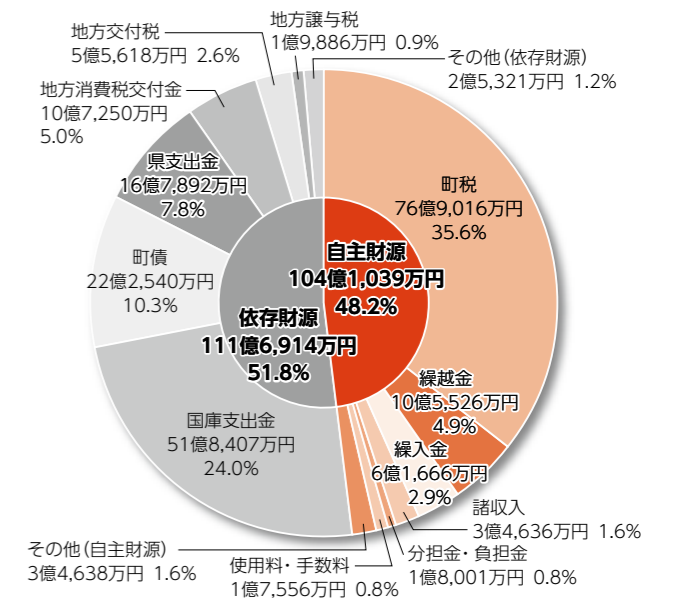
令和4年度一般会計の決算について、皆さんから納めていただいた税金や、国・県からの補助金や交付金などがどのように使われたのか、解説します。
 ※各項目の金額などは、四捨五入により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

☎ 財政課 財政係 ☎(232)2130

一般会計 歳出 205億6,423万円
 (前年度比 8億1,858万円増)



一般会計 歳入 215億7,953万円
 (前年度比 7億7,863万円増)



町の貯金と借金(一般会計)



※人口については、令和5年3月31日現在の人口(43,673人)で計算しています。

町民一人当たり換算した歳入

49万4,116円 ※歳入を令和5年3月31日現在の人口で割ったもの

一般会計で町民一人当たりに使われたお金(歳出)

47万866円

民生費	167,108円	土木費	86,613円	総務費	65,494円	教育費	41,154円
公債費	36,000円	衛生費	34,038円	商工費	13,726円	消防費	12,239円
農林水産業費	11,467円	議会費	2,778円	その他	249円		

一般会計の決算の状況
 令和4年度一般会計の決算額は、歳入から歳出を差し引くと10億1,530万円の黒字となりました。このうち3億9,377万円は令和5年度に繰り越して行う事業費に充てられたため、実際には7億5,933万円の黒字です。
 また、前年度末に比べ、町の貯金である基金は1億9,581万円増、町の借金である町債は5億5,961万円増加しました。

特別会計

一般会計のほか、5つの特別会計の決算については、次のとおりです。

土地取得特別会計	歳入	1億8,193万円
	歳出	1億8,154万円
工業団地造成事業特別会計	歳入	1億303万円
	歳出	1億303万円
国民健康保険特別会計	歳入	33億6,884万円
	歳出	32億9,634万円
介護保険特別会計	歳入	27億7,167万円
	歳出	26億8,502万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	5億1,429万円
	歳出	4億9,665万円